

鎌倉大仏大仏殿再建の提案
 古都鎌倉における現代に調和した大仏殿の設計

Proposal to rebuild the Great Buddha Hall in Kamakura
 Designing the Great Buddha Hall for the Modern Age in the Ancient City of Kamakura

佐藤信治¹, ○尾沢圭太²
 Shinji Sato¹, *Keita Ozawa²

In Japan, there are many buildings that have historical significance and embody the traditions and culture of old Japan. These buildings not only nurture the people's awareness of history and culture, but also serve as a tourist resource and an economic factor that supports the city and people's lives.

However, in recent years, the demand for inbound tourism and other forms of tourism have brought more tourists to these areas than the amount allowed, and there have been some cases where the original landscape and culture of the tourist sites have been damaged. Therefore, it is important to develop tourist attractions that harmonize with the historical climate of the surrounding natural environment and the buildings with historical significance while developing the tourist industry.

Therefore, this proposal is a foothold to consider the ideal historical sightseeing spot appropriate for the modern age, using the Great Buddha of Kamakura in the ancient capital of Japan, Kamakura as a target.

1. はじめに

我が国日本には歴史的意義を有した建造物が多く現存し、かつての日本の伝統と文化を現代に具現している。そして、それら建造物は私たち国民に歴史や文化意識を育ませるだけでなく、観光資源として街や人々の生活を支える経済的要素の一つとなっている。

しかし、近年のインバウンドや観光需要などにより許容量以上の観光客がその地に訪れ、観光地本来の景観や文化が損なわれている事象が散見される。このことから、絶えず訪れる観光客と歴史的意義を有する建造物及び周囲の自然的環境をくくる歴史的風土との調和を図りつつも、観光産業を発展させていく観光地づくりが重要であるといえる。

そこで本提案は、古都鎌倉の鎌倉大仏を対象とし現代に相応しい歴史的観光スポットの在り方を考える足掛かりとする。

2. 計画背景

2.1. 鎌倉市の観光規模

現代の鎌倉市は首都圏に近いエリアに位置することから、日帰り観光地として多くの観光客が訪れる街である。鎌倉を訪れる観光客の特徴として、訪れる年齢層は非常に幅広く海外からの観光客も多い。そして、その立地からリピーターの多さが挙げられる。

Table 1. Percentage of visitors by age [1]

【基本1】年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	合計
3月	24	33	16	18	38	20	0	149
5月	6	12	9	40	46	36	0	149
9月	6	20	26	11	32	53	1	149
11月	5	15	18	24	27	16	7	112
合計	41	80	69	93	143	125	8	559
構成比	7.3%	14.3%	12.4%	16.6%	25.6%	22.4%	1.4%	100%

2.2. 観光客によって起こされる問題

鎌倉市では観光客の多さからいくつもの問題や課題が発生している。ごみの不法投棄をはじめとした観光客のマナー悪化や観光客の流入による交通渋滞といった問題がよく取り上げられる。そして、鎌倉市は市民の生活圏と観光エリアが重なっていることから、観光客によって引き起こされる問題が市民に対して非常に強く直接影響を与えてしまう。また、多くの観光客が訪れるということにより、本来の街の歴史的景観がそなわれてしまっている問題もある。この問題は市民だけでなく観光客自身からも不満に感じている問題であり、景観維持や観光産業の両方面から問題解決が望まれている。

3. 基本方針と計画

上記の背景から、個々の観光スポット及び周辺を以下の条件で整備していく。(1)歴史的建造物の観光的意義、市民的意義の住み分けがなされていること。(2)歴史的風土を残すだけでなく、現代の街の風土も未来に伝

1 : 日大理工・教員・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

2 : 日大理工・院(前)・海建 Department of Oceanic Architecture and Engineering, College of Science and Technology, Nihon University.

えられること。(3)観光客によって歴史的建造物の景観が損なわれないこと。

以上の条件を基本方針とし、観光地鎌倉の歴史的建造物周辺を計画する。

3.1. 計画地

神奈川県鎌倉市長谷. 市内で混雑が著しい地帯である長谷地区を選定エリアとし、そのエリア内に存在する高德院鎌倉大仏を対象として計画を行う。



Figure 1. Map of Hase area[2]

4. 建築計画

4.1. 全体計画

長谷地区北側に位置する高德院を基点として、北及び北西側に整備を進め分散型観光を促す。その基点づくりとして高德院鎌倉大仏に大仏殿を再建する。市民や観光客が求める景観、歴史的建造物の保存、鎌倉市が掲げる「成熟した観光都市」といった視点から、それに相応しい形を設計していく。



Figure 2. Zoning diagram

4.2. 導入機能

①宿泊施設 ②観光施設 ③レストラン ④地域住民と観光客の交流施設 ⑤交通機能 ⑥大仏殿

5. 参考文献

- [1] 鎌倉市の観光事情〔令和5年度版〕：
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankou/documents/toukei05.pdf>
- [2] Google マップ：<https://www.google.co.jp/maps/>
- [3] 鎌倉市/古都における歴史的風土：
<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/fuuchi/kotoniokerurekisitekihuudo.html>
- [4] 鎌倉市観光ニーズ調査結果：
<https://www.trip-kamakura.com/uploaded/attachment/1567.pdf>
- [5] 第2回鎌倉市スマートシティ官民研究会：
https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/documents/20201225_siryu2_1.pdf